

(別紙 2)

令和 7 年度古賀市脱炭素経営支援プラットフォーム運営実証 業務委託公募型プロポーザル審査基準

企画提案書、見積書等の内容を総合的に評価し、最も優れた提案者（以下「最優秀者」という。）の選考を行う。

1 審査について

(1) 資格審査

実施要領に示す参加資格の要件等を満たしていることを確認する。

※要件を満たしていない場合は失格とする。

(2) プレゼンテーション審査

企画提案書等審査は、各委員の合計点数を平均し、点数の大きい順番で順位をつける。

なお、最高得点が複数ある場合は、ランク A（B）の項目が多い者を最優秀者として選考する。

ただし、合計点数の平均が 120 点に満たない場合、最優秀者として選考しない。

また、ランク F の項目が 1 つ以上ある場合は、合計点数の平均が高くとも、選考しない場合がある。

2 採点方法

審査項目の(1)～(7)について、審査基準ごとにランク付けを行い、配点に対する係数を乗じて採点する。

ランク	審査区分	係数
A	特に優れた提案となっている/特に優れている	1.00
B	A と C の中間	0.80
C	一定の優れた提案となっている/優れている	0.60
D	C と E の中間	0.40
E	仕様書の内容は満たしているが、優れている点が認められない	0.20
F	仕様書の内容を満たしていない/提案がなされていない	0.00

3 審査項目等

審査項目		審査基準	配点
(1)全体評価	①	仕様書の内容を的確に理解し、明確かつ具体的な提案がされているか。	10点
	②	事業を効果的・効率的に実施するための提案がされているか。	10点
	③	事業の実施方法等が具体的で、実現性があるか。	10点
(2)的確性	①	古賀市脱炭素ロードマップに沿って、地域脱炭素の実現に向けたプラットフォームの運営を継続的に実施できる手法が示されているか。	30点
	②	プラットフォームの参加対象である古賀市内の企業に関する知見を有し、参加事業者に対する継続的かつ有効な支援が実施できる体制となっているか。	30点
	③	実証業務終了後も地域内で継続的に脱炭素経営が推進される仕組みになっているか。	30点
	④	地域経済循環を意識した提案となっているか。	30点
(3)実現性	①	業務目的の実現のために、具体的かつ的確な業務の進め方が提示されており、作業スケジュールが適切であるか。	10点
	②	参加企業を一定数確保できる募集方法が適切に示されているか。	10点
	③	業務内容が的確に遂行されるための人員と組織の体制が整っているか。	10点
(4)地域性	①	本社、本店又は本部が福岡県内にある。	30点
	②	市域に根差して中堅・中小企業の経営支援に携わる者であるか。	30点
	③	効果的に事業を実施するためのネットワークを古賀市内に持ち合わせているか。	30点
(5)独創性	①	本市の特性を踏まえた上で、新しいアイデア等、具体的かつ効果的なプラットフォーム運営に繋がる工夫がみられるか。	10点
(6)業務実績	①	本業務と同種・類似業務の実績があるか。	10点
(7)価格評価	①	(全参加者の最低価格／当該参加者の提案価格) × 配点	10点
合 計			300点